

# GitHub 入門（インストラクション）

産業技術大学院大学

中鉢欣秀

2016-08-18

## 1 GitHub 入門

### 1.1 この資料の入手先

- [https://github.com/yhubachi/github\\_practice](https://github.com/yhubachi/github_practice)

### 1.2 この授業について

- この授業では Git の初心者が、基礎的な Git コマンドの利用方法から、GitHub Flow に基づく協同開発の方法までを学ぶ

### 1.3 事前準備

- 事前に git コマンドが利用できる環境を用意しておくこと
- CUI 端末での shell による基本的な操作を知っているとスムーズに演習ができる

### 1.4 授業の構成

- 個人演習では、テキストの指示に従い、Git/GitHub を利用するにあたり必要となる知識を学ぶ
- チーム演習では、GitHub を活用した協同開発の方法を深く学ぼう

### 1.5 授業の進め方

#### 1. 演習の解説

- 講師が授業の進め方を説明する

#### 2. Git/GitHub を学ぶ個人演習

- 個人演習を通して Git/GitHub の使い方を学ぶ

#### 3. チーム演習

- チームでの開発演習を実施する

## 2 個人演習

### 2.1 個人演習のテキスト

- 個人演習のテキストは次のリンクから入手
  - [Web ページ](#)
  - [ハンドアウト \(PDF\)](#)

## 3 個人演習からチーム演習へ

### 3.1 個人演習からチーム演習への流れ

- この授業では最初に個人演習を行い、その後、チームによる演習に進む
- その際、チーム編成が既に済んでいるか、または、そうでないかで演習の進め方が異なる

### 3.2 チーム編成が済んでいる場合

- 個人演習としてテキストの課題に取り組む
- テキストを終えたメンバーは他のメンバーを積極的に助ける
- 全員がテキストを終えることを目指す
- 全員が完了、もしくは、時間になったらチーム演習に進む

### 3.3 チームがまだできていない場合

- 後ほど席の移動をするので荷物をまとめておく
- 個人演習としてテキストの課題に取り組む
- テキストを完了したら講師・TA に伝えること
- その後、チーム編成を経てチーム演習に進む

### 3.4 チームがまだできていない場合の編成方法

- 個人演習が完了した者から順番に 2 名ずつのペアを組んでいく
- できたペアは空いている席に移動して、チーム

演習を開始する

- 受講者の半数がペアになったら、それ以降にテキストを終えた者は既存のペアに追加していく
- 最終的に 3 ～ 4 人のグループにする

## 4 チーム演習

### 4.1 チーム演習のテキスト

- チーム演習のテキストは次のリンクから入手
  - [Web ページ](#)
  - [ハンドアウト \(PDF\)](#)

## 5 成績評価の方法

### 5.1 提出物

- 提出物は次のとおり
  - 名前
  - 学籍番号
  - GitHub のアカウント名
  - GitHub のリポジトリの Web URL
    - \* 個人演習「our\_enpit」
    - \* チーム演習「team\_enpit」
  - 各自が行った作業の内容
  - 自己評価
    - \* 5 段階 : 5 はとても優れている, 4 は優れている, 3 は普通, 2 は劣っている
  - 自己評価の理由
  - 演習全体の感想

### 5.2 チーム演習の評価

- GitHub のリポジトリを対象に, 主に以下の項目について評価する
  - コミットの数 (一人 5 以上)
  - コミットの粒度 (意味のある単位でできるだけ細かく)
  - コミットメッセージの分かりやすさ
  - ブランチの名前が作業内容を表しているか
  - プルリクエストの活用
  - Wiki や Issue の活用
  - コンフリクトの解消ができたか

### 5.3 成果物の提出方法と補足資料

- 成果物の提出方法や, その他の補足資料は Wiki を参照
  - [Home](#) ・ [ychubachi/github\\_practice Wiki](#)

## 6 問い合わせ

- この授業の内容や資料に関する質問や問い合わせ, 改善提案は GitHub の Issue に登録してください
  - [Issues](#) ・ [ychubachi/github\\_practice](#)